第2回

国道357号社会実験推進協議会

-社会実験の詳細(案)について -

平成16年9月24日(金)



目次

1.	. 社会実験の概要について	P2
	1-1.社会実験の概要	
	1-2.ETC社会実験料金表(案)	
2.	. 効果検証調査について	P5
	2-1. 検証項目と実施する調査	
	2-2. 検証調査の基本方針	
	2-3. 交通量調査	
	2-4. プローブ調査	
	2-5. 渋滞調査	
	2-6. アンケート調査	
3.	. 広報活動について	P12
	3-1. 広報活動とスケジュール(予定)	

1. 社会実験の概要について



1-1. 社会実験の概要

実験期間 : 平成16年11月1日(月)0:00 ~ 平成17年1月31日(月)24:00 (3ヶ月間)

実施時間 : 24時間(終日)

対象車両 : ETC利用車(湾岸習志野ICを利用した車両)

対象区間 : 東関東自動車道 湾岸市川IC ~ 湾岸習志野IC間

割引率 : 約5割





1-2. ETC社会実験料金表(案)

			現行料金	ETC 社会実験 料金 (案)	割引率	
湾岸市川IC	軽自動	車	350	170	(約51%)	湾岸習志野IC
	普 通	車	400	200	(50%)	
	中型	車	450	220	(約51%)	
	大 型	車	550	270	(約51%)	
	特 大	車	850	420	(約51%)	

- *現行料金は平成16年8月末現在。
- *実験期間は平成16年11月1日(月)0:00から平成17年1月31日(月)24:00まで。
- *割引の対象となる車両は湾岸習志野ICを利用したETC利用車。
- *上表のETC社会実験料金は、現行料金の50%の金額を10円単位で切り捨てたもの。

2. 効果検証調査について



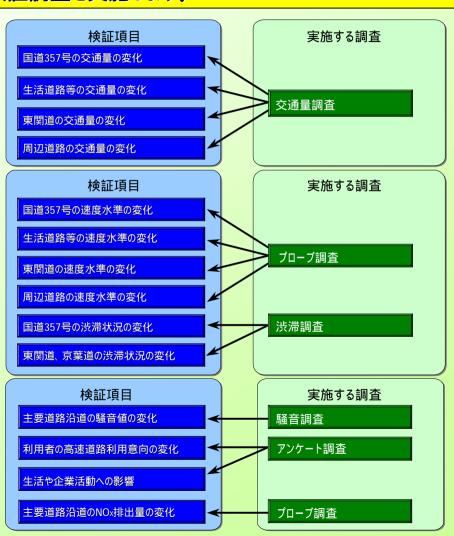
2-1. 検証項目と実施する調査

把握する効果に応じて、大き〈6つの検証調査を実施します。

交通流動の変化の把握

走行環境の変化の把握

<u>沿道環境の変化、</u> 市民生活の変化の把握





2-2. 検証調査の基本方針

交通調査(交通量調査・プローブ調査・渋滞調査)

既設の計測機器を活用

- 道路上に設置されている計測機器(トラカン)の取得データを活用します。

機器では計測できない項目は人手調査

- 機器が設置されていない箇所、渋滞長、移動時間などの機器では計測できない項目は人手で計測します。
- データの信頼性向上のために、調査は実験前・実験中に複数回実施します。

人手調査予定期間

	調査予定期間(1回目)	調査予定期間(2回目)	調査予定期間(3回目)
実験前(平日2回)		日(月)~29日(金) らき連続した2日)	
実験前(休日2回)	平成16年10月17日(E (上記3日		
実験中(平日3回)	平成16年11月9日(月)~26日(金) (上記期間のうち1日)	平成16年12月7日(月)~17日(金) (上記期間のうち1日)	平成17年1月13日(火)~23日(金) (上記期間のうち1日)
実験中(休日3回)	平成16年11月7日・14日・21日・28日 (いずれも日曜日・上記4日のうち1日)	平成16年12月12日・19日 (いずれも日曜日・上記2日のうち1日)	平成17年1月11日・18日・25日 (いずれも日曜日・上記3日のうち1日)

^{*}毎月5日・10日、周辺施設などでのイベント開催時などの特異日は避ける。

アンケート調査

ETC利用と属性に応じて大別した調査対象を設定

- アンケート調査対象として、地域住民・地域企業・一般利用者等を設定し、高速道路利用実態に応じた 調査票作成と被験者抽出を行います。

調査は実験後半に実施

- アンケート調査は社会実験の後半に実施します。

^{*}調査実施予定日には、天候悪化や想定外のイベント開催などを踏まえて、調査予備日を設定する。



2-3. 交通量調查

(国道357号の交通量の変化)

検証項目	調査項目	調査方法調査対象		調査時期		備考	調査	
快业块口	副县以口 副县/ 副县以口	响 且刀况	4 阿旦刈水	実験前	実験中	実験後	1備 写	箇所
国道357号の交通量の変化	断面交通量	トラカンデータ	国道357号		中・後の連絡 平日、休日		車種別時間別方向別交通量を把握	~

(生活道路等の交通量の変化)

検証項目	₩ * ∓□	如本土斗	<u>+□ ★ - ↓ </u>		調査時期		/# *	調査
快祉垻日	調査項目	調査方法	調査対象	実験前	実験中	実験後	備考	調査 箇所
生活道路等の交通量の変化	斯西六语 导	トラカンデータ	(主)千葉船橋海浜線		中・後の連続 (平日、休日		車種別時間別方向別交通量を把握	
	断面交通量	人手観測	市道(3路線)	平日:2 休日:2	平日∶3 休日∶3	-	車種別時間別方向別交通量を観測	~

(東関道の交通量の変化)

検証項目	調査項目	調査方法	調査対象	調査時期			備考	調査
快延填口	神里境日	実験前 実験中 実験後		M 15	箇所			
東関道の交通量の変化	断面交通量	トラカンデータ	湾岸市川JCT ~千葉北IC間	実験前・中・後の連続5ヶ月間 (平日、休日)			車種別時間別方向別交通量を把握	-
ETC交通量の変化	IC出入ETC交通量	ETC利用データ	(東関道) 湾岸習志野IC 習志野本線料金所 東関道全体		中・後の連絡 (平日、休日		車種別時間別ETC交通量を把握	-

(周辺道路の交通量の変化)

検証項目	調査項目	調査方法	調査対象		調査時期		備考	調査
快祉項目	神里 坦日	神旦刀/云 	神里 別象	実験前	実験中	実験後	1445	調査 箇所
京葉道路の交通量の変化	断面交通量	トラカンデータ	篠崎IC~武石IC間	実験前・中・後の連続5ヶ月間 (平日、休日)			車種別時間別方向別交通量を把握	-
京葉道路のIC出入交通量の変化	IC出入交通量	人手観測	市川IC、船橋IC、原木 IC、花輪IC、幕張IC、 武石IC	平日:2 休日:2	平日:3 休日:3	-	車種別時間別方向別交通量を観測 観測は一方向のみとし、逆方向は断 面交通量の差引きにより算定	~
国道14号の交通量の変化	断面交通量	トラカンデータ	国道14号		中・後の連絡 (平日、休日		車種別時間別方向別交通量を把握	~



2-4. プローブ調査

(国道357号の速度水準の変化)

検証項目	調査項目	調査方法	细木社会		調査時期		備考	調査
快祉填白	調旦以日 調旦刀/云	調査対象	実験前	実験中	実験後	1佣行	区間	
国道357号の旅行速度の変化	旅行速度	定時プローブ	国道357号	平日:2 休日:2	平日:3 休日:3	-	GPS車載機搭載車両で走行調査 6時~20時の14時間 方向別に時間別交通量を把握	

〔生活道路等の速度水準の変化〕

検証項目	抽木店口	調査方法	調査対象		調査時期		備考	調査
快祉填日	調査項目 調査方	神里刀 法	<u>副且刀/宏</u>	実験前	実験中	実験後		区間
準幹線道路の旅行速度の変化	旅行速度	定時プローブ	(主)船橋我孫子線 (主)千葉船橋海浜線	平日∶2 休日∶2	平日∶3 休日∶3	-	(同上)	~

(東関道の速度水準の変化)

₩±TTEF	抽木店口	抽木 子:+	調査対象		調査時期		一 備考	調査
検証項目	調査項目 調査方法 	調査方法	间且 刈 家	実験前	実験中	実験後		区間
東関道の旅行速度の変化	旅行速度	定時プローブ	東関東自動車道	平日∶2 休日∶2	平日∶3 休日∶3	1	(同上)	

〔周辺道路の速度水準の変化〕

検証項目	調査項目調査	調査方法	調査対象		調査時期		備考	調査
		神且刀広		実験前	実験中	実験後		区間
京葉道路の旅行速度の変化	旅行速度	定時プローブ	京葉道路	平日∶2 休日∶2	平日∶3 休日∶3	-	(同上)	
国道14号の旅行速度の変化	旅行速度	定時プローブ	国道14号	平日:2 休日:2	平日∶3 休日∶3	-	(同上)	



2-5. 渋滞調査

(国道357号の渋滞状況の変化)

検証項目調査項目	细木店口	調査時期 調査方法 調査対象 Total To			/# <i>*</i>	調査		
	前直	調査方法	祠直 刈豕	実験前	実験中	実験後	備考	箇所
交差点渋滞の状況の変化	渋滞長 渋滞通過時間	人手観測	若松交差点 浜町2丁目交差点 日の出交差点	平日:2 休日:2	平日:3 休日:3	-	4方向 6時~20時の14時間	-

〔東関道での渋滞状況の変化〕

検証項目	調査項目調査方	细木子汁	木		調査時期		備考	調査
		<u> </u>	調査対象	実験前	実験中	実験後	1佣 气	箇所
東関道における渋滞状況の変化	渋滞長 渋滞通過時間	機器観測	湾岸市川JCT~湾岸習志野IC間(本線)	実験前	中・後の連続 (平日、休日)		本線上で発生する渋 滞が対象	-

〔京葉道路での渋滞状況の変化〕

検証項目	抑木巧口	细木大汁	细木社会		調査時期		/#.# .	調査
	調査項目	調査方法	調査対象	実験前	実験中	実験後	備考	箇所
京葉道における渋滞状況の変化	渋滞長 渋滞通過時間	機器観測	篠崎IC~武石IC間(本線)	実験前・	中・後の連続 (平日、休日)		本線上で発生する渋 滞が対象	-



2-6. アンケート調査

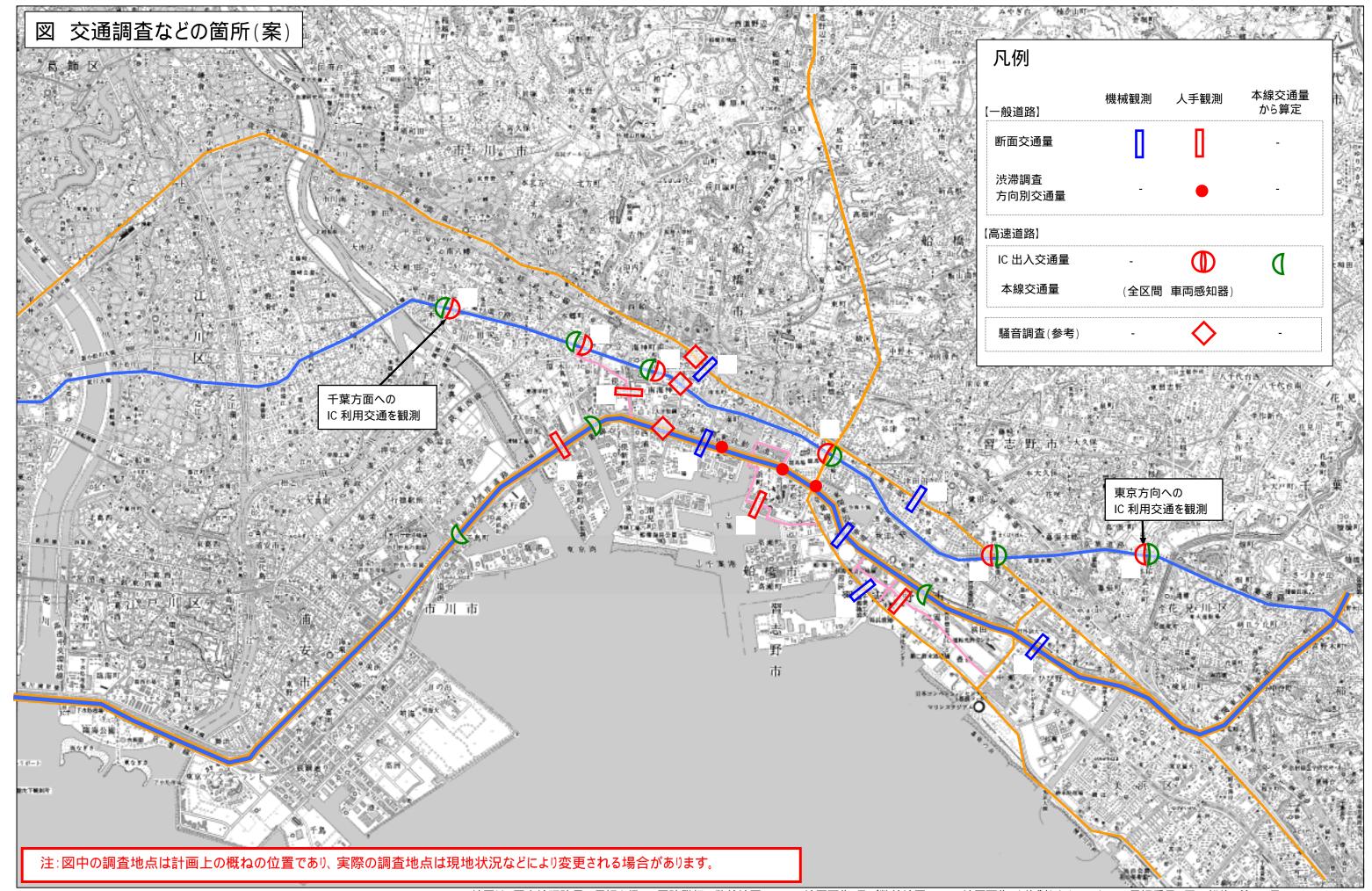
		アンケート配布ターゲッ	ゲット			
調査項目(案)	地域住民	地域企業	一般利用者等			
東関道の利用意向 実験参加者の利用実態 ・参加した理由、利用頻度、通常の利用経路(国道357号・京葉道・国道14号) ・トリップ目的、利用IC、発着地 実験非参加者の実態 ・参加しなかった理由、利用するための条件 共通項目 ・認知度、満足度、今後の高速利用意向、改善点・要望 ・実験期間中の実験地域内道路の混雑状況 (・料金の適正さ)						
交通行動の変化、生活への影響 ・交通行動面の変化:高速道路利用頻度、経路変更 ・生活面への影響:通勤・買い物などの所要時間の変化						
企業活動への影響 ·交通行動面の変化:高速道路利用頻度、経路変更 ·企業活動面への影響:所要時間の変化、経費の変化、業務圏域の変化など						
社会実験の認知度 ・認知の有無、認知時期、認知媒体						
沿道環境への影響 ・騒音や大気質の変化 ・大型車や通過交通の変化						
被験者	市川市、船橋市、 習志野及び千葉 市に在住の方か ら無作為に抽出	市川市、船橋市、 習志野市、千葉 市の物流業者な ど	不特定多数			
調査方法	郵送配	布/回収	協議会 ホームページ			
調査実施時期·回数	実験後	常時受付				

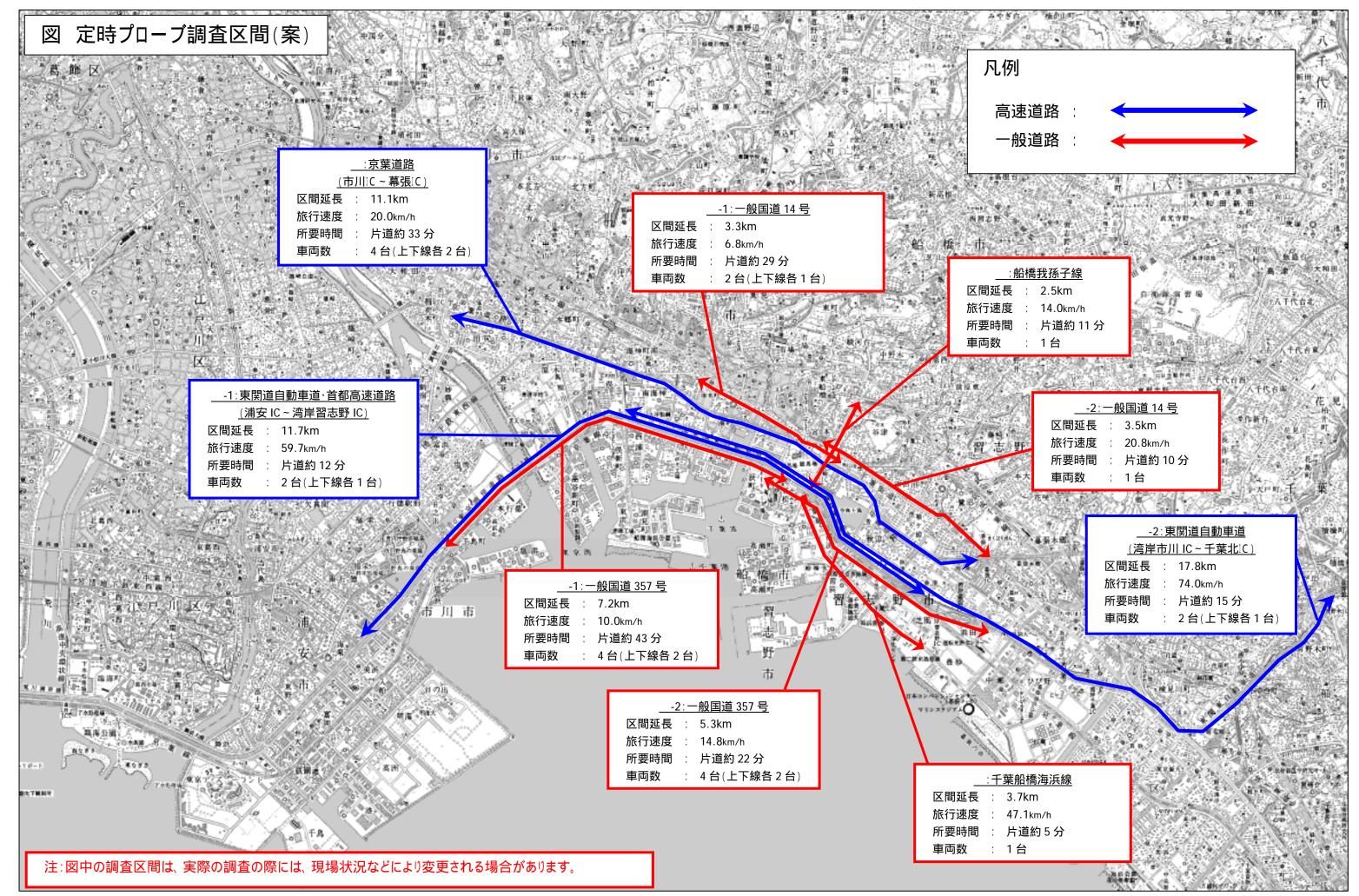
3. 広報活動について



3-1. 広報活動とスケジュール(予定)

	概 要		調整 状況	スケジュール													
広報方法				11110			H16 10月			H16 11月			H16 12月		H17 1月		
				1	10 2	20	1(0 20		10	20		10	20	-	10 2	20
													社会	実験	ŧ		
記者発表	実験1ヶ月	調整中			•			•									
自治体広報誌	市川市、 告記事	調整中					1	(••		((適	主)		\			
チラシ	チラシ	市川市・船橋市・習志野市・千葉市の世 帯に新聞折込チラシ配布	調整中						•								
ポスター	配布	運送事業者などへ配布	調整中						•								
	設置	高速PA、公共施設、集客施設等に設置	調整中					⋖	• • •							• • •	
横断幕・立て看板	高速道路料金所など		調整中							~						• • •	
ラジオ・テレビ	千葉県の	調整中					1	▼	•••			(適宜	.				
インターネット	協議会の 関係機関	調整中				4	•••										
広報の 認知度調査	自動車利用車が立ち寄る施設(高速PA・鉄道駅・集客施設)で、ヒアリングにより広報の認知度を把握(時系列)		調整中						•			•		•	•		•





この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図50000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平16総複、第292号)